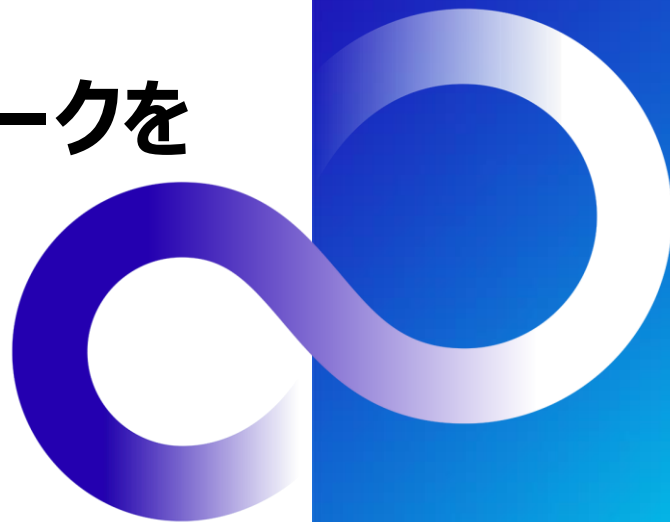


新型コロナ後のハイブリッドワークを 企業システムから考える

2022年11月

富士通株式会社



強制的なテレワーク実施を経て社会がメリット・デメリットを認知

●テレワークのメリットの明確化

- **時間の有効活用／働き方の多様化**の進展
- 社外者とのスピーディーな連携等、**コラボレーション手段**としてのツールの認知向上

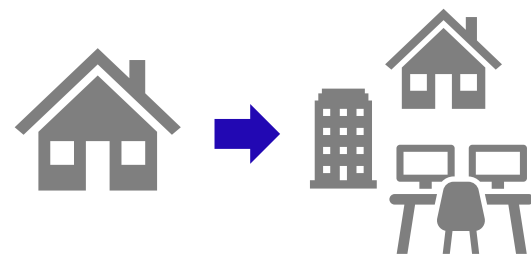
●テレワークできる業務とできない業務の認知の普及

- リモートワーク前提のネットワークや電子押印等の導入による**テレワーク可能な業務**の実績
- 対面業務・製造ライン等のできない業務の明確化



デフレの終了により人材不足状態が継続・深刻化

- 新型コロナ対策としての在宅ワーク
⇒ **人材確保対策としてのハイブリッドワーク**への変化
- 今後特に必要とされる**DX人材の確保**が課題
→ 専門スキルを所有する人材を適切な処遇で雇用する
必要性の増加



従来回帰企業とハイブリッドワーク化企業に分岐

- ✓ 急事態宣言の解除後は東京の職場に人が戻った
- ✓ 増えるテレワークからの強制出社、離職や採用難に拍車の恐れ(日経XTECH)
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00989/012400074/>

経営層

オフィスへの出社は管理効率、会社へのロイヤリティの面で有効という思い

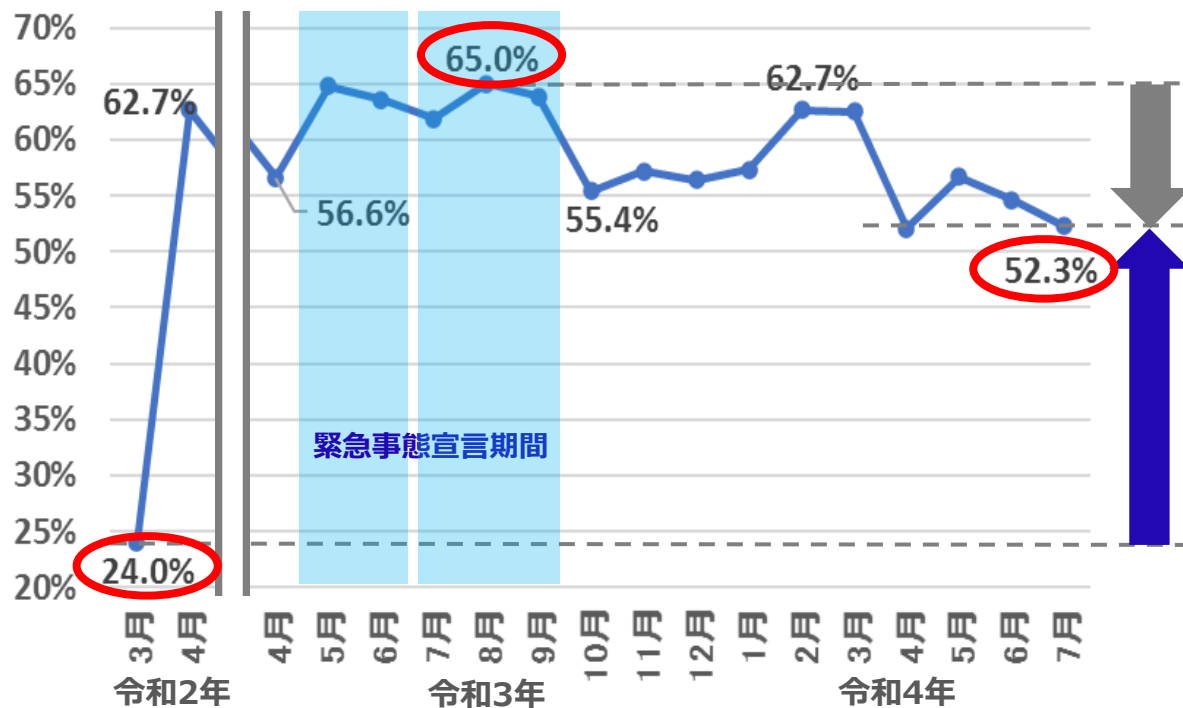


働き手

非通勤の利便性、WEB会議の効率性等、相対的に「出勤」のメリット感じない

働き手（将来も含む）と経営層の考え方にギャップ

現在の「テレワーク」実施率

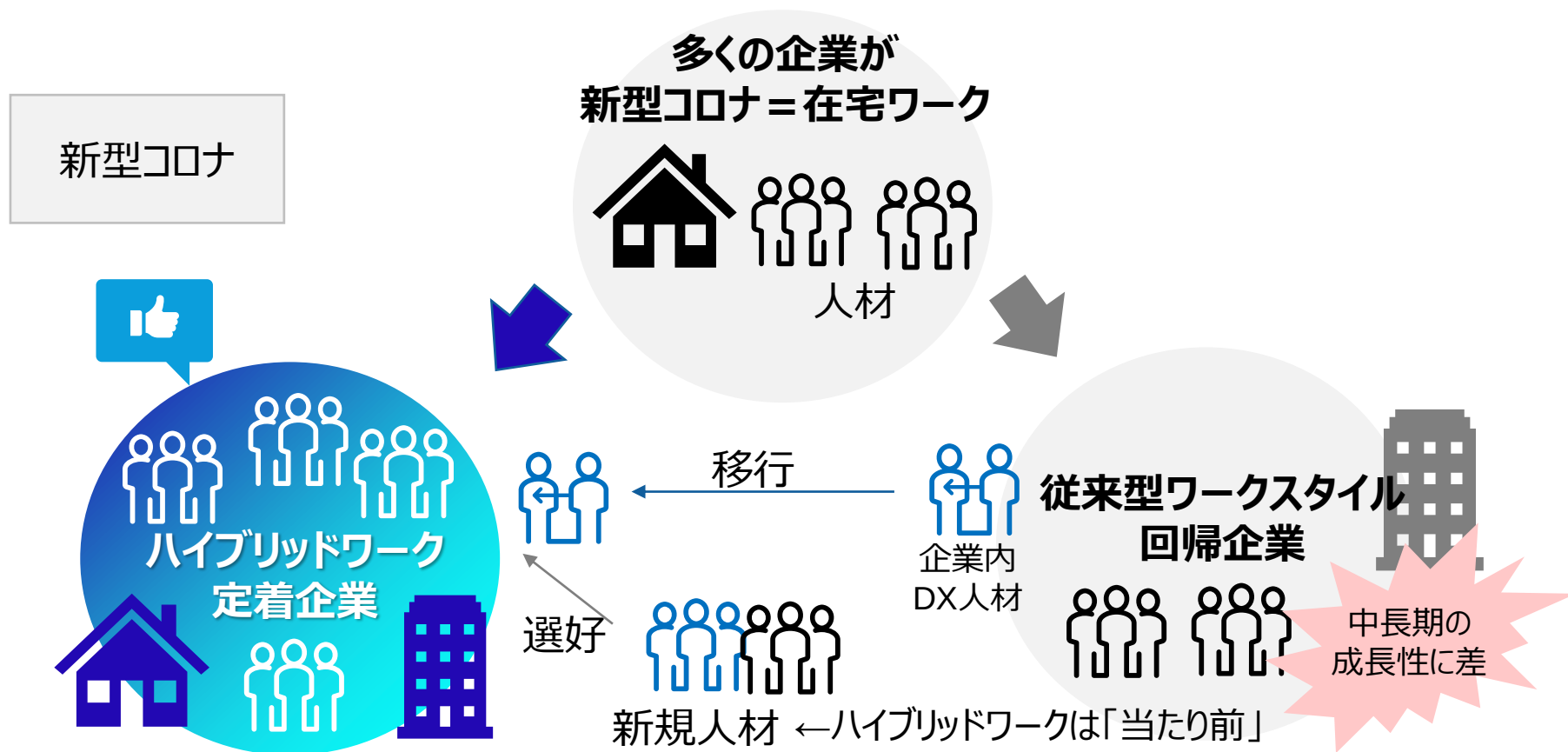


最もテレワーク実施が多かった
時に比べ、
実施率は**12.7%低下**

緊急事態宣言解除後も
テレワーク実施企業は52.3%と
半数以上の比率を維持
→ **ハイブリッドワークとして定着化**

出展：テレワーク実施率調査結果 | 東京都 (tokyo.lg.jp)

ハイブリッドワークの定着と従来型への回帰



企業システムへの要求の変化→「ハイブリッドワーク前提」に

日々巧妙化する
セキュリティ攻撃から
資産・情報を防御

- ・日々開発される**新しい攻撃手法**
- ・**改正個人情報保護法**への対応

クラウドシフト等にも対応する
快適なユーザ環境の提供

- ・パブリッククラウドシステムの移行に伴う**トラフィック増加**
- ・**様々な利用場所や通信経路**に対応したユーザ経験の提供

継続的な
ワークスタイル変更への対応

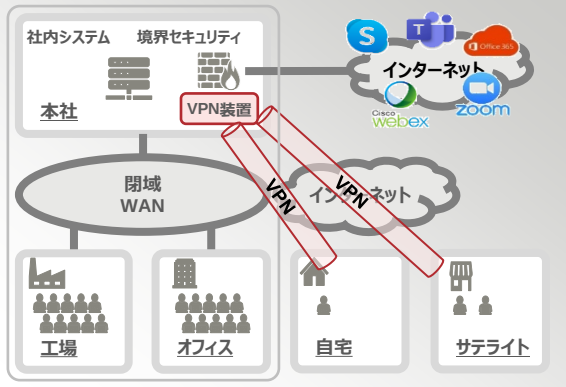
- ・**既存投資の活用**を前提としたリモートワークやセキュリティの向上を実現
- ・**スムーズで安全なマイグレーション**

従来の延長線上のシステム・自前主義では対応は困難！

ハイブリッドワーク前提の企業システムは「ゼロトラスト」の考え方の導入を初めとして
広範囲に渡るセキュリティの確保が必要不可欠

■ ~2019年

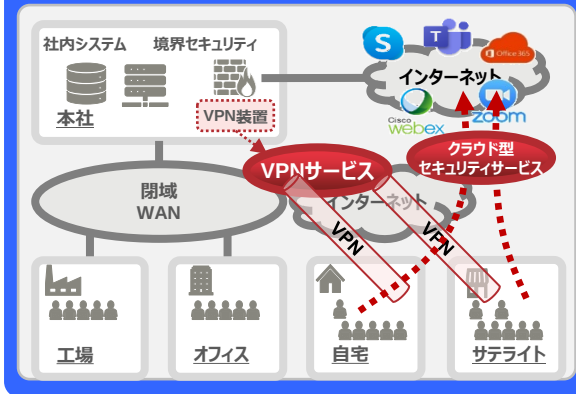
➢ 働く場所が限定



設備投資の対象のメイン
セキュリティの境界線

■ 2020年~

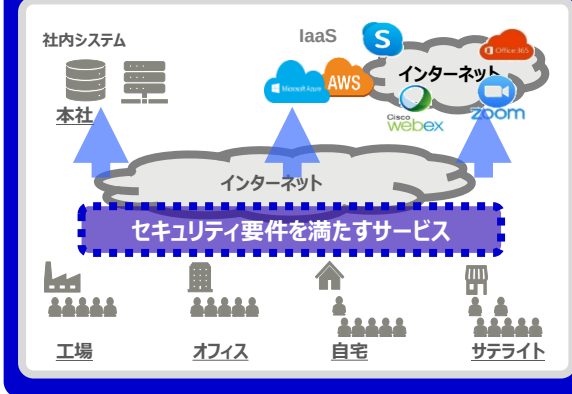
➢ テレワークの普及で働く場所が変わる



設備投資の対象やセキュリティの
境界線も複雑・広範囲に

■ ~202X年~

➢ どこでも働ける環境（ゼロトラストの導入）



働く場所が広範囲になればなるほど
サービス利用が有利

ネットワーク、セキュリティインフラをサービスで利用するのが最適な時代に！

ハイブリッドワークに対応するためのシステムとは？

こんなお困りごとありませんか？

- ▶ 働く場所はオフィスとリモートワークのハイブリッドワークが当たり前の時代に！
リモートワークにもオフィスと同等の安全性、利便性が求められています。

① 巧妙化する セキュリティ 攻撃

インターネット接続でリモートワークを行うのはマルウェア感染が心配・・・
2022年4月制定の『改正個人情報保護法』に向けて準備をしたいが・・・

② 利用環境

M365/Zoom等のトラフィック増大により業務に支障が出ている・・・

③ ワークスタイ ル変更対応

ID管理が大変・・・利用者のパスワード忘却も心配・・・
ゼロトラストの導入にはシステムの全面的な刷新が必要で困難・・・

今後も発生し得る突然の環境変化や、働き方改革の流れは止めることができません。
アフターコロナと言われるこのタイミングで、改めてリモートワーク環境を整備しませんか？

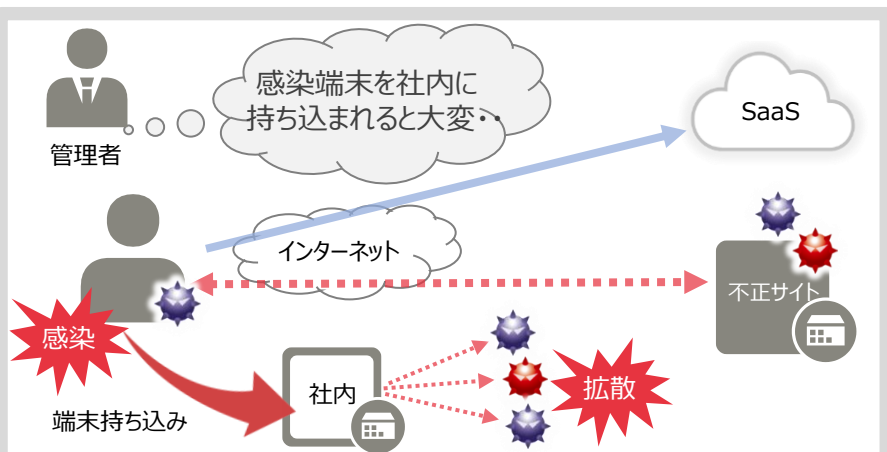
富士通ができること

①-1 インターネット接続でリモートワークを行うのはマルウェア感染が心配・・・

▶利用者のITリテラシを問わず、リモートワーク時のセキュリティリスクを低減。

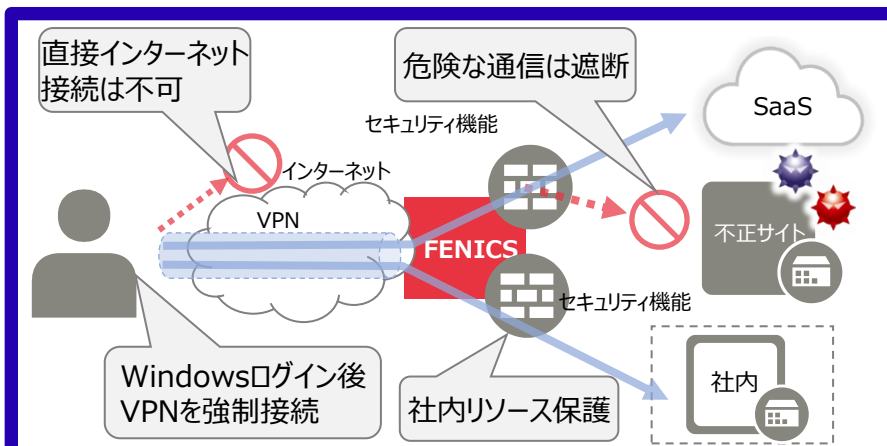
Windows端末に専用クライアントソフトをインストールすることで自動的(強制的)にVPNを接続します。
更に通信のチェックを行うことでマルウェア感染による拡散のリスクを低減します。

<Before : × >



端末を直接インターネットへ接続してリモートワークを行うのはマルウェア感染が心配・・・

<After : ○ >



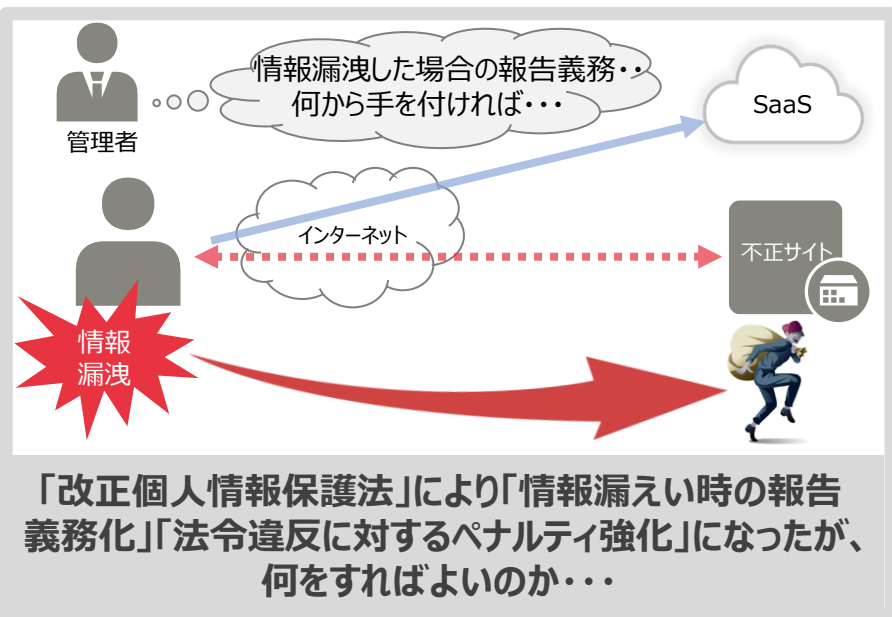
自動VPN接続機能 + セキュリティ機能により
リモートワーク時のセキュリティリスクを低減

①-2 2022年4月制定の『改正個人情報保護法』に向けて準備をしたいが・・・ FUJITSU

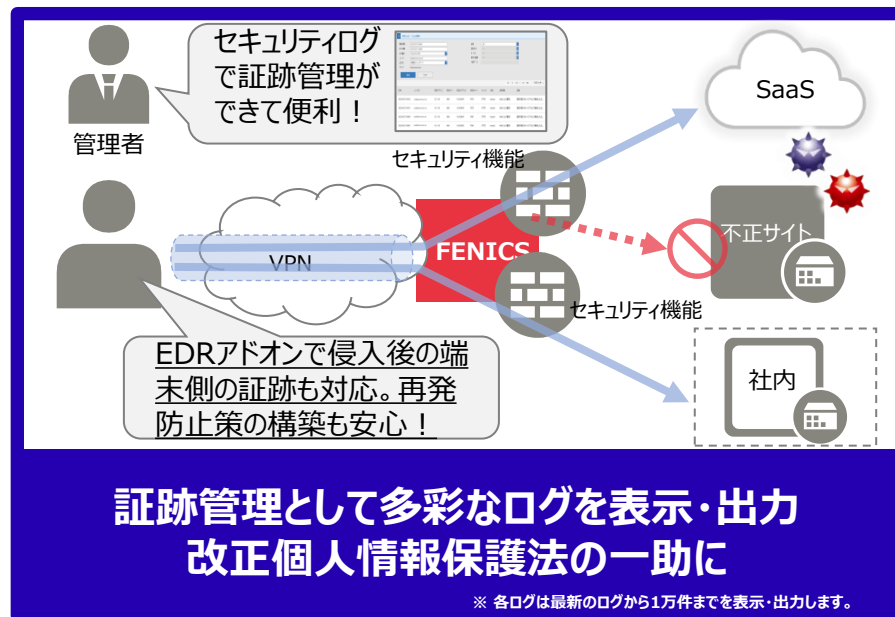
➤改正個人情報保護法への対応

FENICSサービス基盤からセキュリティログが参照できます。証跡管理として利用できるので、原因究明の第一歩として役立てることができます。

<Before : × >



<After : ○ >

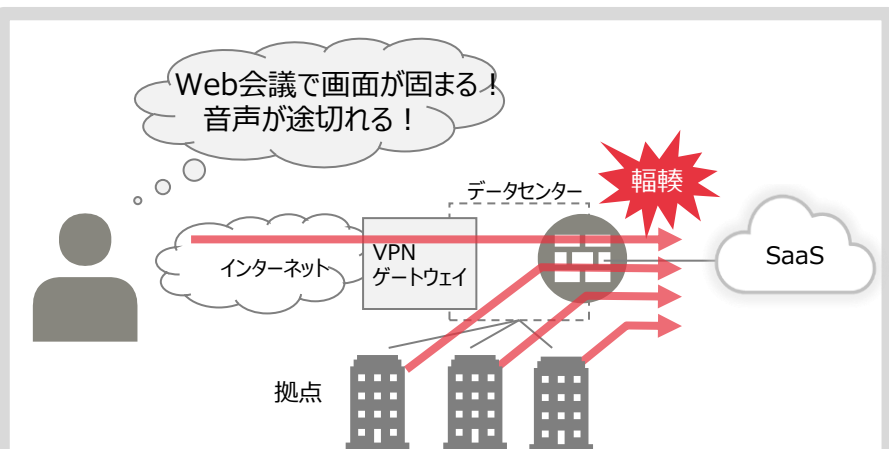


② M365/Zoom等のトラフィック増大により業務に支障が出ている・・・ FUJITSU

▶リモートワーク時のコミュニケーションを円滑化し、ストレスなく業務を推進。

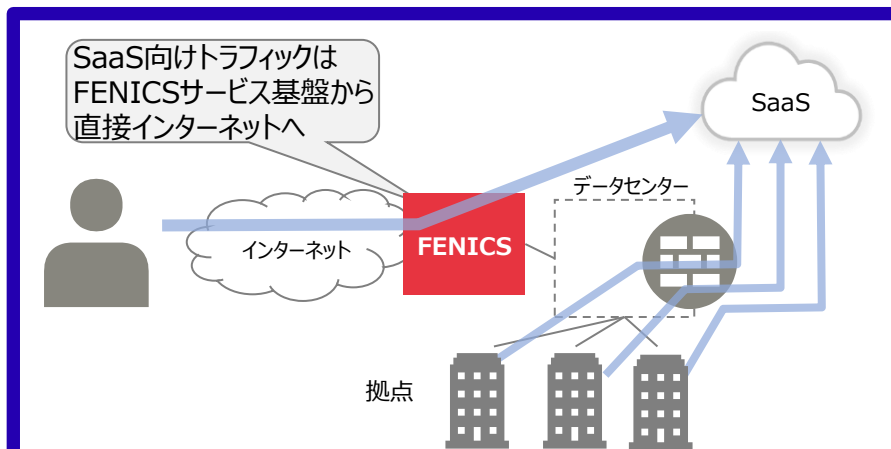
FENICSサービス基盤から特定SaaS向けトラフィックを負荷分散することで、通信経路上のボトルネックを解消します。
レスポンスに敏感なWeb会議等の音声が届切れる、画面が固まるような状況も改善が期待できます。

<Before : × >



M365/Zoom等のSaaSトラフィックが増大し
レスポンスが悪く業務に支障が出ている・・・

<After : ○ >



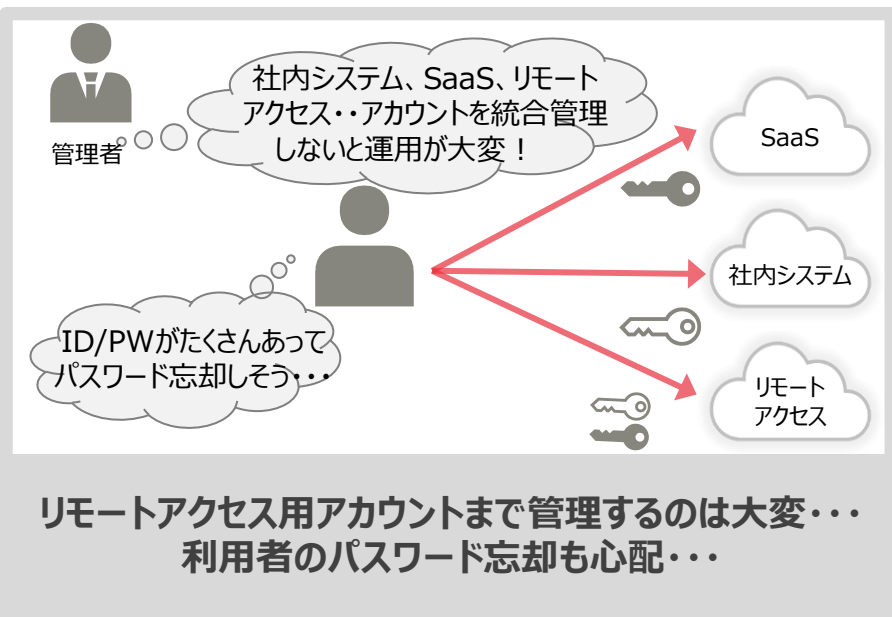
FENICSサービス基盤からSaaS向け
トラフィックを負荷分散することでレスポンス改善

③-1 ID管理が大変・・・利用者のパスワード忘却も心配・・・

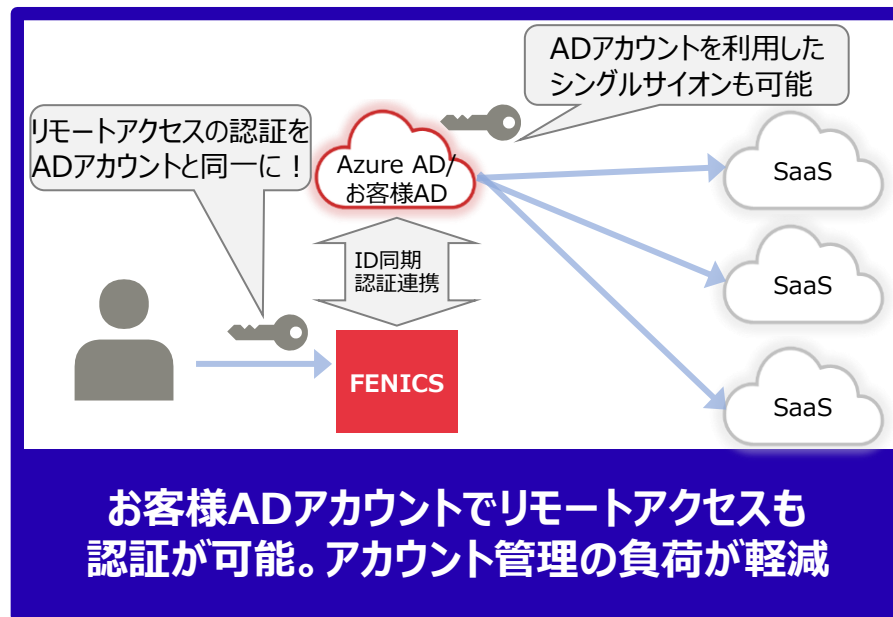
➤AD連携によるアカウント統合で管理者の負荷を削減。利用者の利便性も向上！

Azure AD/お客様ADとFENICSサービス基盤が連携することで、リモートアクセス用アカウントとADアカウントの統合が可能です。ADをご利用中もしくは導入予定であれば、アカウント管理に伴う運用負荷を大幅に削減可能です。

<Before : × >



<After : ○ >

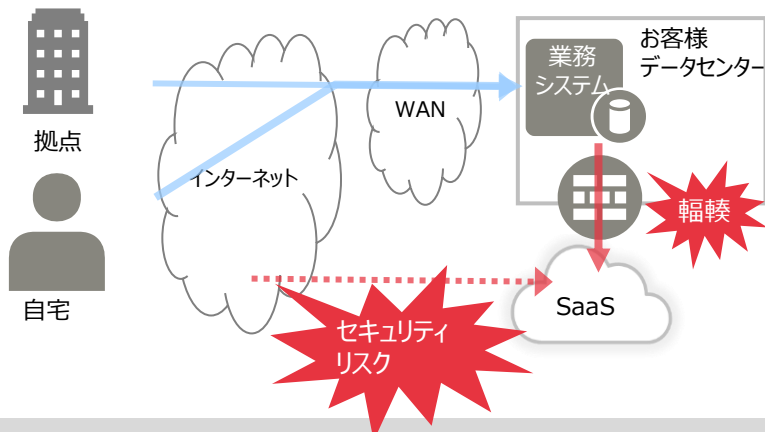


③-2 ゼロトラストの導入にはシステムの全面的な刷新が必要で困難・・・

➤ 既存ネットワーク環境を変えずに、低コストで安全・快適なインターネット利用を実現

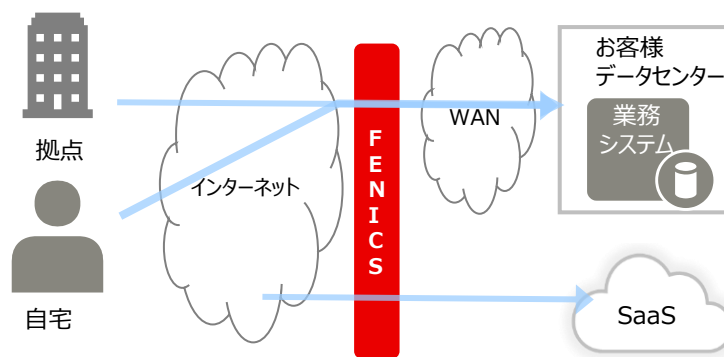
他社ベンダーに多くみられる既存環境の全面刷新をすることなく、アドオンのみでコストを抑えながらセキュリティリスクを減らしセンター回線輻輳も回避した快適なインターネットの業務利用を実現するゼロトラストの導入が可能です。

<Before : × >



インターネット業務の増加、利用者端末のインターネット接続でセキュリティリスクが心配・・・

<After : ○ >



既存環境にゼロトラストセキュリティGWをアドオンするだけで安全・快適なインターネット利用可能

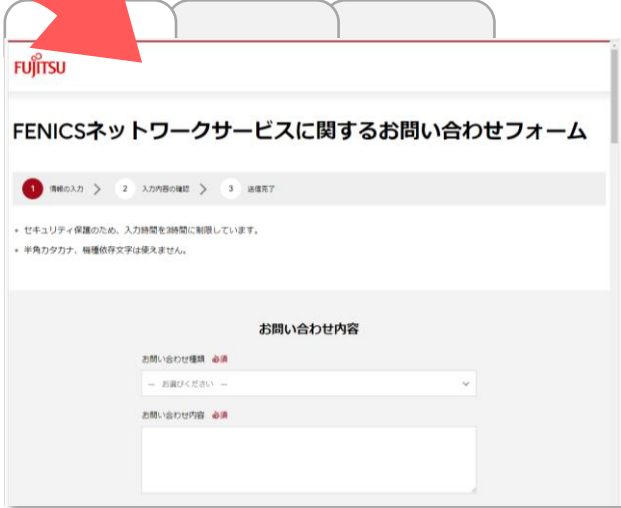
ご連絡ください！

- 本件に関するお問い合わせは以下ページのフォームより
お願いします。

https://contactline.jp.fujitsu.com/contactform/_csque04401/038968/

本資料に関連した富士通サービスは以下になります。

- ・FENICS II ユニバーサルコネクト アドバンス ゼロトラストネットワーク



A screenshot of a web browser displaying the contact form for FENICS II Universal Connect Advanced Zero Trust Network. A red arrow points to the top of the form. The form has a header with the Fujitsu logo and the title "FENICSネットワークサービスに関するお問い合わせフォーム". Below the title is a progress bar with three steps: "1 情報の入力", "2 入力内容の確認", and "3 送信完了". The first step is active. Below the progress bar are two bullet points: "・セキュリティ保護のため、入力時間を30秒間に制限しています。" and "・半角カタカナ、半角英数字のみ入力してください。". The main content area is titled "お問い合わせ内容" and contains two input fields: a dropdown menu labeled "お問い合わせ種別 必須" with the option "お調べください" selected, and a text area labeled "お問い合わせ内容 必須".

Thank you

